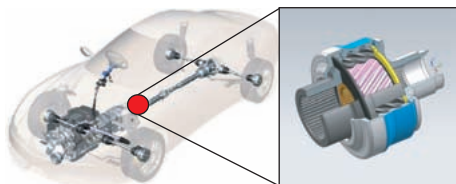


トルセン タイプ Csm

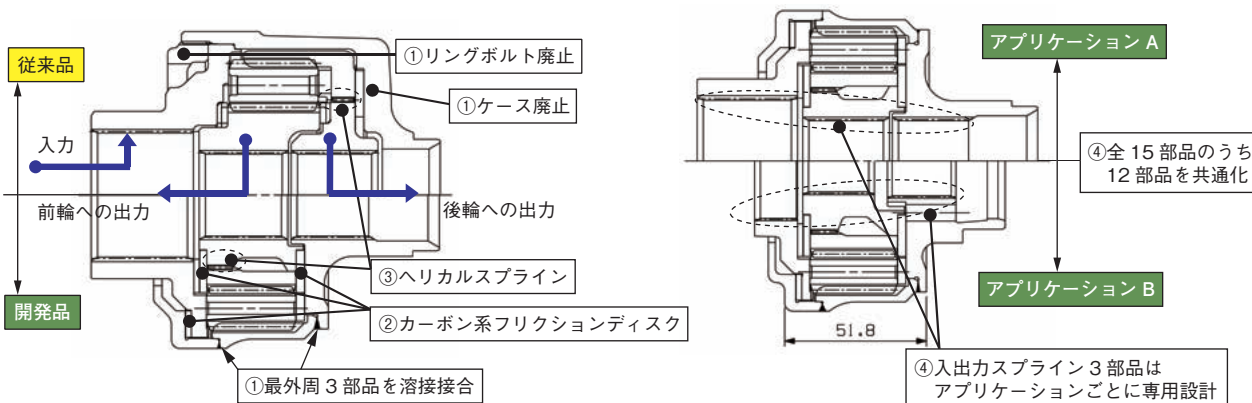
TORSEN Type Csm



4輪駆動車向けの差動制限機能付きセンタデファレンシャル (LSD) トルセン タイプCを基に、外周ケース廃止による小型・軽量化と複数のアプリケーションの開発や生産を容易にするモジュラ設計コア部品の採用などにより、商品力を向上させた新世代トルセン タイプCsmを開発したので紹介する。(sm: smart module)

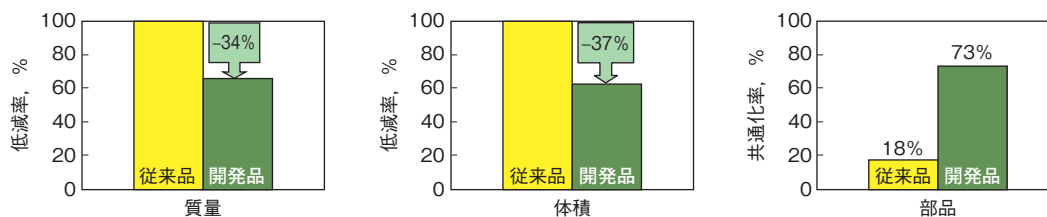
特長

- ①大物部品のケースとリングボルトを廃止し、最外周のリヤ出力3部品を短波長レーザ溶接で接合
- ②主要部のフリクションディスクには、摩擦特性に優れかつ、高負荷対応のカーボン系材料を初めて採用
- ③スラスト力を付加するヘリカルスプラインをサンギヤ側に移動させ、前輪へのトルク分配設定の自由度拡大
- ④アプリケーションごとに異なる入出力スプライン部品以外の、コア部品の歯車やフリクションディスクを共通化



商品力向上

- ・質量 34% 低減, 体積 37% 低減
- ・NVH (静粛性) 耐久性能の向上
- ・異なるアプリケーション間での部品共通化率を大幅に向上
- ・新規アプリケーションの開発と生産対応の効率化可能



* 1 トルセンおよび TORSEN は、株式会社ジェイテクトの登録商標です。